

# 第100期 事業のご報告

平成19年4月1日～平成20年3月31日



# 決算ハイライト

## 連結決算

(単位：百万円)

経営成績	第99期	第100期
	(前期)	(当期)
売上高	45,547	49,784
営業利益	1,886	3,686
経常利益	2,457	4,120
当期純利益	2,836	3,809
1株当たり当期純利益(円)	20.52	27.90
財政状態	第99期	第100期
	(前期)	(当期)
純資産額	31,942	28,798
総資産額	69,002	59,059

## 単体決算

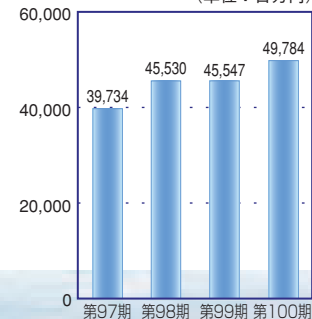
(単位：百万円)

経営成績	第99期	第100期
	(前期)	(当期)
売上高	22,922	28,479
営業利益	1,773	3,223
経常利益	2,072	3,467
当期純利益	1,746	3,289
1株当たり当期純利益(円)	12.62	24.06
財政状態	第99期	第100期
	(前期)	(当期)
純資産額	29,992	26,380
総資産額	52,869	47,168

## 連結財務ハイライト

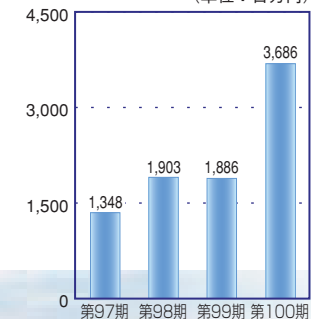
### 売上高

(単位：百万円)



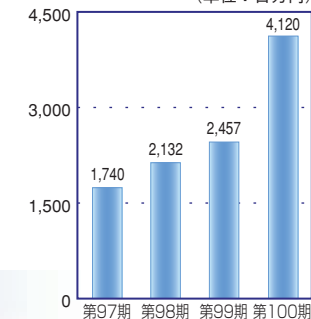
### 営業利益

(単位：百万円)



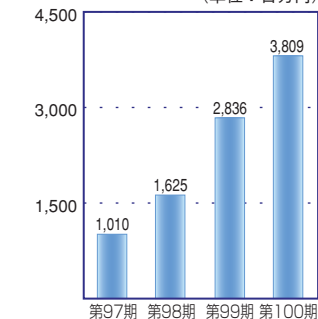
### 経常利益

(単位：百万円)



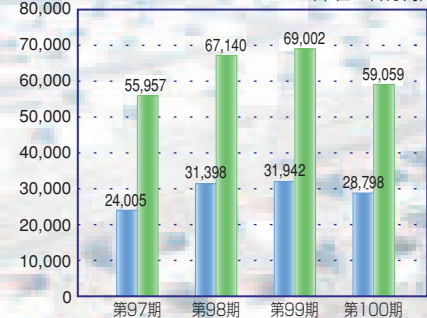
### 当期純利益

(単位：百万円)



### 純資産・総資産

(単位：百万円)



■ 純資産 ■ 総資産

### 有利子負債と現預金残高推移

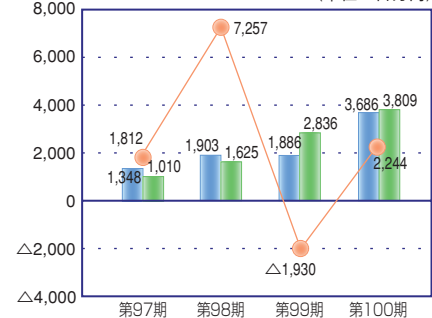
(単位：百万円)



■ 有利子負債 ■ 現預金残高

### 損益とフリーキャッシュ・フロー

(単位：百万円)



■ 営業利益 ■ 当期純利益  
● フリーキャッシュ・フロー

株主の皆様におかれましては、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

第100期の「事業のご報告」をお届けするにあたりまして、ご挨拶申し上げます。

当期のトーヨーカネツ・グループの業績は、機械・プラント事業の好調により、前年同期比、大幅な増収増益を達成致しました。

なお、当期の配当金につきましては、株主の皆様への利益還元の見地より、1株につき1円増配し、1株につき4円とさせていただきます。

また、昨年11～12月には、長期的な視点での株主還元策として、約15億円の自己株を取得致しました。

これら業績を踏まえ、当社グループは、「優れた技術に拘りこれをベースに、常によりよき製品とサービスを社会のために提供することにより成長・発展するグループ」を目指し、「当面の経営課題」に適切に対処するとともに、「主要事業の基本方針」に基づき事業を強力に推進することにより、グループ企業価値の一層の向上を図ってまいります。

### 1. 当面の経営課題

- ① 持続的成長のための主要事業の改革・改善の継続・強化

技術力・競争力の向上、業務改革・コスト削減等に尚一層取り組み、各事業の持続的成長を図ります。

- ② 組織・人材の活性化

創造力と実行力のある組織を目指し、人材の確保と育成並びに活用に一層注力していきます。

- ③ 公正で透明性の高いコーポレート・ガバナンスへの一層の取り組み

コンプライアンス体制を含めた内部統制システム、リスク管理体制の確立とともに、経営のモニタリングと情報開示・アカウンタビリティの充実により、グループの健全な成長・発展を図ります。

### 2. 主要事業の基本方針

#### ・物流システム事業

市場規模の拡大に多くを望まず、価格競争が厳しさを増す事業環境下、流通業、3PL業、空港、郵政等向け

に経営資源を集中し、顧客のニーズに応えた、物流システム・機器とITの融合による物流ソリューションの提供に注力することで差別化戦略を図ります。また生産性の向上やコストの合理化等への継続的な取り組みにより高収益の体質化に努め、業界での揺るぎないポジションを目指します。

このような戦略実施の一環として、SCM（サプライチェーンマネジメント）システムの要であるWMS（物流管理用情報システム）を中心としたIT技術と、ピッキング、ソータ、コンベヤ等のハード技術との融合により、「ソリューションプロバイダー」としての実力をさらに高めるとともに、今後の活用が期待される「UHF帯RFIDタグ」など先端技術への取り組みを強化してまいります。

#### ・機械・プラント事業

世界的なエネルギー需要の増加の機会をとらえ、国内外での豊富な実績に裏付けられた、タンク専門メーカーとしての「ブランド力」、「技術力」、「信頼性」並びに「国際的な競争力」のもと、LPG、LNGタンク等の高付加価値製品を主力製品として、海外工場（インドネシア国）の設備増強や更なる合理化をはじめ、EPC（エンジニアリング・資材調達・工事）全般にわたり強化を図ってまいります。

また、安定的な収益事業として期待できるメンテナンス分野については、専門メーカーの強みを活かし、構造安全診断から改修までの一貫したサービスを提供することにより、引き続き増強を図ってまいります。

#### ・建築事業

工事施工業者のネットワーク化や技術・生産性の向上等施工管理体制の充実によるコスト低減に努めるとともに、不採算案件の排除や新規分野の育成により収益基盤の一層の強化を図ります。

株主の皆様におかれましては、今後とも一層のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

平成20年6月

取締役社長 水上 健



# 連結財務諸表（要約）

連結貸借対照表（要約）

（単位：百万円）

	第99期 平成19年3月31日現在	第100期 平成20年3月31日現在
<b>（資産の部）</b>		
<b>流動資産</b>	30,226	30,244
現金及び預金	7,138	7,579
受取手形及び売掛金	8,615	11,640
有価証券	1,499	—
たな卸資産	10,153	8,998
短期貸付金	112	119
繰延税金資産	976	935
その他	1,969	1,261
貸倒引当金	△ 238	△ 288
<b>固定資産</b>	38,775	28,814
有形固定資産	16,955	16,323
無形固定資産	321	221
投資その他の資産	21,497	12,269
投資有価証券	17,785	9,789
長期貸付金	1,147	1,017
その他	3,115	1,934
貸倒引当金	△ 550	△ 472
<b>資産合計</b>	69,002	59,059

（単位：百万円）

	第99期 平成19年3月31日現在	第100期 平成20年3月31日現在
<b>（負債の部）</b>		
<b>流動負債</b>	22,865	21,272
支払手形及び買掛金	2,285	2,215
短期借入金	4,860	4,609
その他	15,719	14,446
<b>固定負債</b>	14,194	8,988
長期借入金	4,360	3,194
繰延税金負債	7,330	3,959
退職給付引当金	2,352	1,631
その他	151	202
<b>負債合計</b>	37,060	30,260
<b>（純資産の部）</b>		
<b>株主資本</b>	24,651	26,564
資本金	18,580	18,580
資本剰余金	1,104	1,104
利益剰余金	5,049	8,481
自己株式	△ 82	△ 1,600
<b>評価・換算差額等</b>	7,282	2,234
その他有価証券評価差額金	7,556	2,575
繰延ヘッジ損益	△ 16	△ 94
土地再評価差額金	391	391
為替換算調整勘定	△ 649	△ 638
<b>少数株主持分</b>	8	—
<b>純資産合計</b>	31,942	28,798
<b>負債純資産合計</b>	69,002	59,059

**連結損益計算書（要約）**

（単位：百万円）

	第99期 平成18年4月1日 ～平成19年3月31日	第100期 平成19年4月1日 ～平成20年3月31日
売上高	45,547	49,784
売上総利益	5,627	7,408
販売費及び一般管理費	3,741	3,721
営業利益	1,886	3,686
営業外収益	899	782
営業外費用	328	347
経常利益	2,457	4,120
特別利益	443	123
特別損失	841	165
税金等調整前当期純利益	2,059	4,078
法人税、住民税及び事業税	161	184
法人税等調整額	△ 947	90
少数株主利益	8	△ 7
当期純利益	2,836	3,809

**連結キャッシュ・フロー計算書**

（単位：百万円）

	第99期 平成18年4月1日 ～平成19年3月31日	第100期 平成19年4月1日 ～平成20年3月31日
I. 営業活動によるキャッシュ・フロー	454	3,299
II. 投資活動によるキャッシュ・フロー (フリーキャッシュ・フロー I+II)	△ 2,384 △ 1,930	△ 1,054 2,244
III. 財務活動によるキャッシュ・フロー	612	△ 3,291
IV. 現金及び現金同等物に係る換算差額	31	△ 26
V. 現金及び現金同等物の増減額	△ 1,286	△ 1,073
VI. 現金及び現金同等物の期首残高	9,767	8,399
VII. 新規連結及び連結除外に伴う現金及び現金同等物の増減額	△ 82	0
VIII. 現金及び現金同等物の期末残高	8,399	7,325

**通期見通し（連結・単体）**

（単位：百万円）

	第100期実績 平成19年4月1日 ～平成20年3月31日	第101期見通し 平成20年4月1日 ～平成21年3月31日
連結 売上高	49,784	57,000
営業利益	3,686	1,900
経常利益	4,120	2,500
当期純利益	3,809	2,500
単体 売上高	28,479	34,800
営業利益	3,223	1,390
経常利益	3,467	1,880
当期純利益	3,289	1,870

**連結株主資本等変動計算書（要約）**

（平成19年4月1日～平成20年3月31日）

（単位：百万円）

	株主資本					評価・換算 差額等	少数株主 持分	純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計			
前期末残高	18,580	1,104	5,049	△ 82	24,651	7,282	8	31,942
当期変動額								
剰余金の配当			△ 415		△ 415			△ 415
当期純利益			3,809		3,809			3,809
自己株式の取得				△ 1,518	△ 1,518			△ 1,518
連結会社の増加に伴う減少高			△ 0		△ 0			△ 0
持分法適用会社の減少に伴う増加高			37		37			37
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）						△ 5,048	△ 8	△ 5,056
当期変動額合計	—	—	3,431	△ 1,518	1,913	△ 5,048	△ 8	△ 3,143
当期末残高	18,580	1,104	8,481	△ 1,600	26,564	2,234	—	28,798

## 機械・プラント事業

### 水島LNG基地向け増設LNGタンク受注

水島LNG基地向け既設LNGタンク1基目に続き、2基目の増設タンク（容量：16万キロリットル）も受注しました。加工面でインドネシア・バタム工場活用を計画・開始しており、国内設置LNGタンクとしては初めての海外加工を採用しています。

イエメン向け大型LNGタンク建設工事 順調に進捗中  
イエメンで建設中の大型LNGタンク2基目の屋根浮上が平成20年1月13日に完了しました。納期内完成に向けて、工事は順調に進捗しています。（写真はイエメンで建設中のLNGタンク）



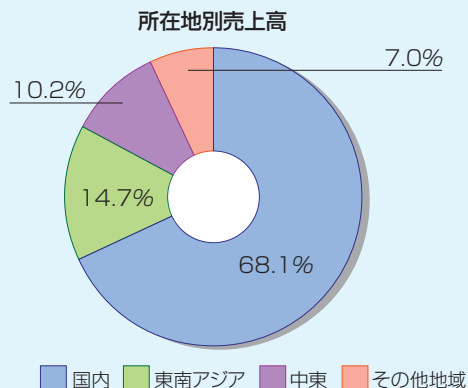
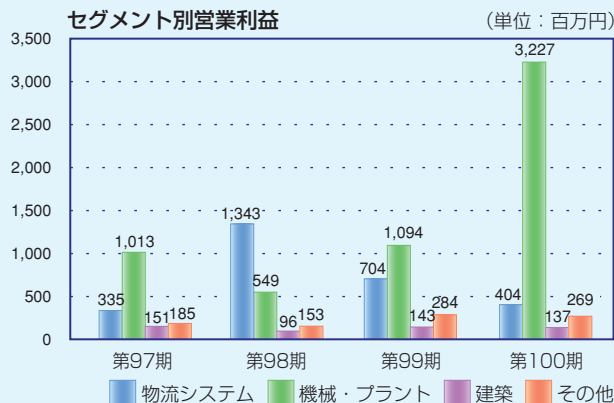
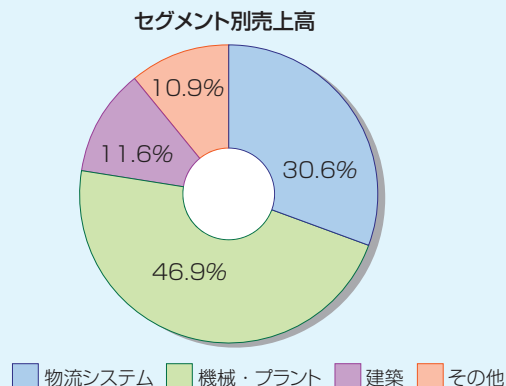
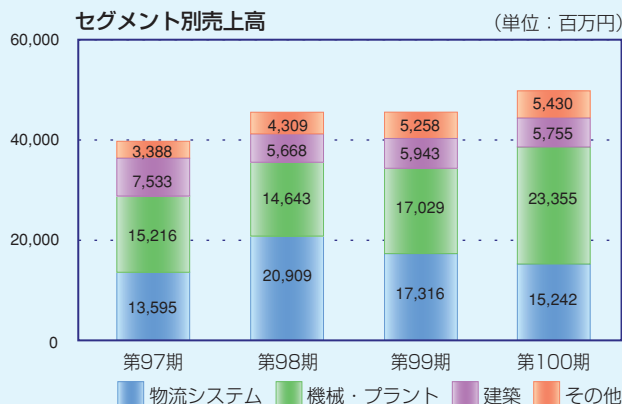
## 物流システム事業

### 新製品の納入が続く

平成19年7月に、新型ソータの第1号機が稼働しました。当ソータは「シンプル・堅牢・メンテナンスフリー」がコンセプトの新製品です。また9月に、ラベルの再利用を可能にした環境にやさしい物流ラベルシステムの第1号機が稼働しました。平成20年11月には、図書の仕事システムの第1号機が稼働します。本システムは、貸出しされた図書が返却される際に、分類別に自動仕分けを行うものです。これからも時代のニーズに合致した新製品を納入してまいります。



## セグメント別営業の概況



商号 トーヨーカネツ株式会社  
 TOYO KANETSU K.K.  
 設立年月日 昭和16年5月16日  
 資本金 185億80百万円  
 所在地 東京都江東区東砂八丁目19番20号  
 事業所 本社 東京都江東区  
 千葉事業所 千葉県木更津市

役員  
 代表取締役社長 清田 重昭 常勤監査役 能條 輝夫  
 代表取締役副社長 水上 健 監査役 日野 正晴  
 常務取締役 島崎 真次 監査役 村重 嘉文  
 取締役兼上席執行役員 有田 貞雄 監査役 遠藤 紘一  
 取締役兼上席執行役員 柳川 徹

## グループ会社一覧

### 物流システム事業

- トーヨーカネツソリューションズ株式会社 東京都江東区
- ケイ・テクノ株式会社 東京都江東区

### 物流システム事業／機械・プラント事業

- トーヨーカネツマレーシア社 マレーシア

### 機械・プラント事業

- アル・ガリーラエンジニアリングアンドコンストラクション社 オマーン
- トーヨーカネツインドネシア社 インドネシア
- ティーケーケーユーエスエー社 アメリカ
- トーヨーカネツシンガポール社 シンガポール

### 建築事業

- トーヨーミヤマ工業株式会社 千葉県木更津市
- 株式会社片山組 東京都新宿区

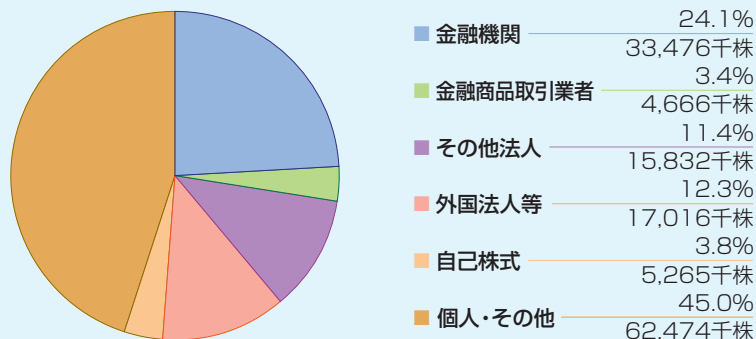
### その他の事業

- 株式会社ティケイエル 東京都江東区
- 株式会社トーヨーサービスシステム 東京都江東区
- グローバルエイト株式会社 東京都江東区
- トーヨーコーケン株式会社 東京都江東区
- 株式会社マナビス 千葉県浦安市

## 株式の状況

発行可能株式総数 ————— 297,000,000 株  
 発行済株式総数(自己株式を含む) — 138,730,741 株  
 株主数 ————— 20,320 名

所有者別株式分布状況



# 株主メモ

事業年度	4月1日～翌年3月31日
定時株主総会	6月下旬
基準日	定時株主総会 3月31日 その他必要あるときは、予め公告します。
配当金受領株主確定日	期末配当金 3月31日 中間配当金 9月30日
公告の方法	電子公告の方法により行います。ただし、やむを得ない事由により電子公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載致します。 〈公告掲載の当社ホームページアドレス〉 <a href="http://www.toyokanetsu.co.jp/">http://www.toyokanetsu.co.jp/</a>
株主名簿管理人	三菱UFJ信託銀行株式会社
同事務取扱場所	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 東京都千代田区丸の内一丁目4番5号
同 取 次 所	三菱UFJ信託銀行株式会社 全国各支店 野村證券株式会社 全国本支店
郵便物送付先・電話照会先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 電話 0120-232-711 (フリーダイヤル)

お知らせ

住所、配当金振込指定・変更、単元未満株式買取請求に必要な各用紙及び株式の相続手続依頼書のご請求は、株主名簿管理人のフリーダイヤル0120-244-479で24時間承っておりますので、ご利用ください。

## ホームページのお知らせ



TOP画面



IR情報ページ

<http://www.toyokanetsu.co.jp/>  
当社に関する情報をご覧いただけます。

# トヨカネツ 株式会社

本社 〒136-8666 東京都江東区東砂八丁目19番20号  
TEL.03 (5857) 3333 (代表) FAX.03 (5857) 3170

